

目 次

はじめに i

第 1 部 痕跡から動物種を特定するための技術

第 1 章 痕跡調査の意義	關 義和	3
1. はじめに		3
2. 野生動物管理とは？		4
3. 野生動物管理におけるフィールド調査の意義 ——とくに痕跡調査に着目して		5
4. 痕跡調査を実施するにあたって		8
第 2 章 痕跡調査のための第一歩 ——迷わず山を歩く技術	關 義和	11
1. はじめに		11
2. 地形図の読み方		12
3. コンパスの使用法		15
4. 地図読みの実践		22
5. 最後に		25

第3章 痕跡を読み取る技術

——動物ごとの痕跡と生態の特徴 29

内容と構成 關 義和 29

【霊長目】

1. ニホンザル 辻 大和 32

【鯨偶蹄目】

2. ニホンジカ 姜 兆文 39 3. キョン 杉浦義文 52

4. ニホンカモシカ 山田雄作 59 5. イノシシ 平田滋樹 68

【食肉目】

6. ヒグマ 小林喬子 78 7. ツキノワグマ 小池伸介 87

8. アカギツネ 竹内正彦 98 9. タヌキ 關 義和 106

10. ニホンアナグマ 田中 浩 115 11. ニホンテン 辻 大和・關 義和 126

12. クロテン 村上隆広 132 13. ニホンイタチ 藤井 猛 139

14. ハクビシン 關 義和・竹内正彦 144 15. アライグマ 加藤卓也 155

16. フィリマングース 亘 悠哉 162 17. イリオモテヤマネコ 中西 希 172

18. ツシマヤマネコ 中西 希 179

【齧歯目】

19. ムササビ 浅利裕伸 184 20. ニホンモモンガ 浅利裕伸 191

21. タイリクモモンガ 浅利裕伸 196 22. ニホンリス 山崎文晶 204

23. クリハラリス 山崎文晶 210

24. その他の動物 關 義和 215

25. 哺乳類の歩き方と足跡 關 義和 220

【コラム 1】 足跡トラップ法による哺乳類調査 岩下明生 229

【コラム 2】 痕跡調査に分子生物学的手法を用いる 佐々木浩 237

第2部 野生動物管理のための理論と実践

第4章 地理情報データベースの基礎	立木靖之	245
第5章 食性の評価	小寺祐二	287
第6章 個体数の評価	江成広斗	313
第7章 生息地の評価	江成はるか	353
読書案内	367	
引用文献	371	
索引	425	
事項索引	425	
生物名索引	430	

【コラム3】 FOSS4G でここまでできる野生動物調査 ～オープンソース GIS の活用事例～	岩崎巨典	274
【コラム4】 イノシシの被害調査データを用いた GIS の活用事例 ～行政データを用いて～	奥田(野元)加奈	281
【コラム5】 糞分析におけるミミズの検出方法	關 義和	291
【コラム6】 炭素・窒素安定同位体比を用いた食性研究の事例	小林喬子	309
【コラム7】 イノシシ個体群管理の現状と課題	小寺祐二	322
【コラム8】 ニホンジカの個体数推定に用いられている 代表的な手法	姜 兆文・關 義和	334
【コラム9】 自動撮影カメラを用いた哺乳類調査	平田滋樹	340
【コラム10】 自動撮影カメラを用いた野生動物の個体数推定	池田 敬	347

